

地方の 国立大が 就職に強い 理由

しっかりしていて
自分の意見を
主張できる!

協調性がある!

考え抜く力があり
持続性がある!

どんな分野にも
対応できる能力がある!

真面目!

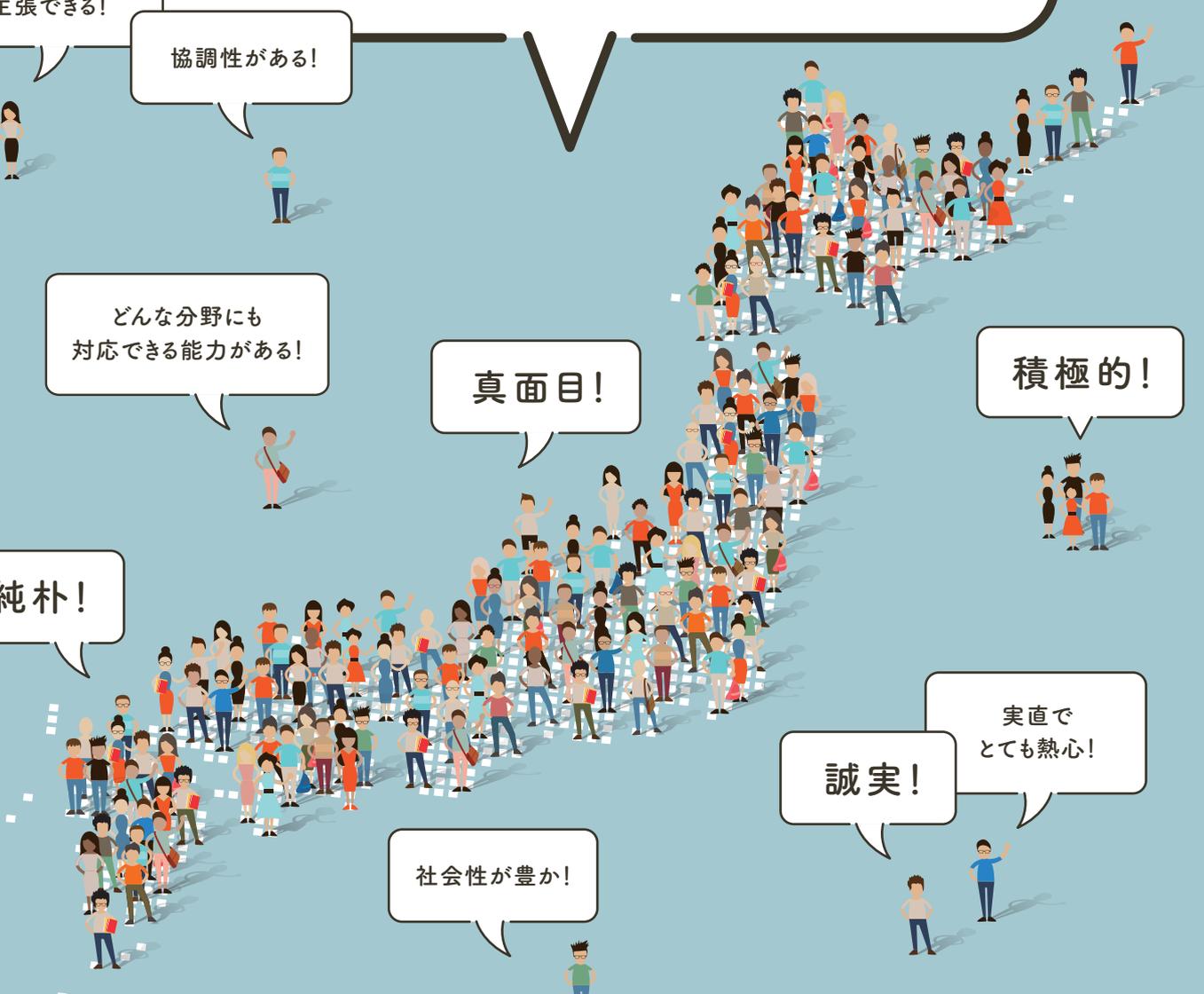
積極的!

純朴!

誠実!

実直で
とても熱心!

社会性が豊か!



6つの POINT

はじめに

「就職のことを考えると、地元の私立大学の方が良い」

「数年後に就職活動を行うことを考えると、都市部の有名私立大学の方がやっぱり有利」

という認識をお持ちの保護者は、きっと多いのではないのでしょうか。

私立大学はPR活動が上手なので、保護者の皆さんも詳しい情報をお持ちですが、

国立大学の就職状況について、ご存知な方は少ないのではないのでしょうか。

就職結果を積極的にPRしようとする国立大学は、これまであまりありませんでした。

あくまで、就職結果や就職率の情報のみを明示するだけで、「なぜそのような就職状況なのか」

「どんな支援を大学が行っているのか」を、詳しく説明する国立大学はありませんでした。

鳥取大学は、地方国立大学を代表し、そのような保護者の皆さまや高校の先生方に向けて、

本学を例に地方国立大学が就職に強い“理由”を説明したいと考え、この冊子を作成しました。

私立大学の受験のみをお考えの保護者の皆さまも、ぜひ一度ご確認いただき、

地方国立大学への進学も選択肢のひとつとしてご検討下さい。

01.
教育の特徴

→ P3

02.
就職支援

→ P4~5

03.
環境

→ P6~7

04.
卒業生の進路

→ P8~9

05.
出身県就職率

→ P10~11

06.
社会の評価

→ P12

「就職率」のマジック!?

POINT
就職率は
“% (パーセント)”ではなく、
“実数”に注目!

平成28年度大学等卒業者の4月1日現在の就職状況調査の推移(厚生労働省HPより)

区分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	
大学	93.9% (0.3)	94.4% (0.5)	96.7% (2.3)	97.3% (0.6)	97.6% (0.3)	
うち	国公立	95.3% (▲0.1)	96.7% (1.4)	97.7% (1.0)	97.1% (▲0.6)	97.3% (0.2)
	私立	93.4% (0.5)	93.7% (0.3)	96.3% (2.6)	97.4% (1.1)	97.7% (0.3)
統計	94.3% (0.7)	94.7% (0.4)	96.7% (2.0)	97.5% (0.8)	97.7% (0.2)	

上記は、厚生労働省が発表している、平成28(2016)年度大学等卒業者の4月1日現在の就職状況調査の平成25(2013)年から平成29(2017)年までの「就職率」(正確には就職内定率)の数値です。この表の「大学」をみると、「国公立」と「私立」に分かれ、「就職率」が記載されています。この値だけを見ると、「国公立」が「私立」に比べ、高い時もあれば低い時もあります。なかなかこの数値だけでは、「国立大学の就職が良い」とは言えないところです。

注意していただきたいのは、“% (パーセント)”ではなく、“実数”です。この「就職率」は、「就職希望者に占める就職者の割合」をいくつかの学校を抽出して算出しています。「97%」と聞けば、「良い結果」と思えそうですが、本当にそうなのでしょうか。この「就職率」を「国公立大学全体」と「私立大学全体」で考えてみたいと思います。

1学年の学生数は、国立大約10万人、公立大約3万人に対して、私立大約48万人です。就職希望者は在籍者数に対して、国公立大が55%、私立大が84%です。したがって、就職希望者数を算出すると、国公立大は(10万+3万)×0.55=71,500人、私立大は48万×0.84=403,200人です。平成29年4月の就職率は、国公立大が97.3%なので、未就職者数は71,500×0.027=1,931人です。一方、私立大学は97.7%なので、未就職者数は403,200×0.023=9,274人となります。未就職者数を比較すると、**国公立大1,931人：私立大9,274人となり、私立大は国公立大のおよそ5倍の未内定者があり、7,343人も多い結果**となります。

つまり、“%”だけでみれば良いように思える就職率ですが、「国公立大」と「私立大」の学生数は元々大きく違うので、“%”が似通った値であっても、**実際の就職未内定者数そのものは、大きく異なる**ということです。また、「就職率」の算出方法も、**未内定者を「就職希望者」に含めないで算出する大学もある**ため、どこの大学も「就職率90%以上」になっています。

01. 地方国立大学の教育の特徴

① 強い実学志向

都会に多い私立大学とは異なり、国立大学は全国各地に設置されており、特に地方においてはその地域の学術・文化・教育・医療・産業の中心として機能しています。そのため、学問系統に実学の分野が多い傾向があります。特に「医学」「工学」「農学」「教員養成」の分野は、地方国立大学の存在無しには成り立ちません。「大学で学んだことを実社会で活かし貢献していきたい」と考える人にとって、実学の学問系統が豊富にある地方国立大学は、非常に魅力的です。



② 不可欠な「キャリア教育」

大学卒業後の進路は、入学する学部学科によって異なりますが、「勤労観」や「職業観」をもち自分自身で自立して生きていくための力は、今や大学生1人1人に必要な能力です。平成22(2010)年、大学設置基準が改正され、全ての大学で「キャリアガイダンス(社会的・職業的自立に関する指導等)」が義務づけられました。鳥取大学では、全学部でキャリア教育を導入し、大学1年次前期に「キャリア入門」という導入科目を開講しています。充実した学生生活を送る重要性を説き、将来の進路選択に向けた姿勢や考え方を修得させています。

1年次前期 「キャリア入門」授業計画(一部)

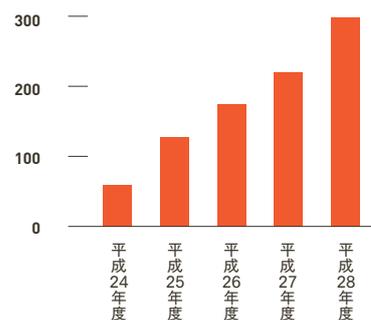
第1回.オリエンテーション
第2回.どのように生きるか①-大学生生活と「キャリア」
第3回.どのように生きるか②-「大学から社会への移行」をめぐる現状
第4回.どのように学ぶか①-社会は「学士」に何を期待しているのか
第5回.どのように学ぶか②-大学での学びの何が役に立っているのか
第6回.どのように働くか①-「仕事」とは何か
第7回.どのように働くか②-仕事を通じた自己実現とは
第8回.中間まとめ-学修成果確認

③ 毎年増加の「インターンシップ」

国公立に関わらず、近年、多くの大学でインターンシップへの参加を促す機会を設け、参加する学生も毎年増加しています。国立大学の学生数は、私立大学に比べ少ないため、インターンシップの参加率は高めです。

鳥取大学でも、学生に職業への理解を深め、自分の将来の姿を早期に考えてもらうため、インターンシップへの参加機会を設けています。1・2年次の低学年から職業体験を知るしくみとして、キャリア教育科目「就業体験学習」を設け、単位修得が可能です。実際に企業等で働く経験を通じて、働くことの意味や職業人について学び、勤労意欲向上に繋げています。鳥取大学のインターンシップ参加者数(期間が5日以上)は、右の図のように、年々増加傾向です。

インターンシップ参加学生数



④ 「グローバル教育」でタフ人材

全国各地の国立大学で、その大学の教育・研究の特徴を活かした「グローバル教育」に力を入れています。鳥取大学では、「乾燥地研究」や「途上国支援」に関する研究に力を入れており、世界各地の大学と提携協定を締結しています。提携先大学の国・地域を中心に、毎年約350名の学生が海外へ渡航しています。学生は海外渡航経験を通じて、タフで力強く自ら行動できる学生となって帰国しています。



① 「キャリアセンター」の設置

私立大学が“就職に強い”のは、学生に対する就職支援を昔から充実させてきたことが挙げられます。国立大学において就職情報を扱う専門部署は、平成16(2004)年の大学法人化前後に「就職課」が各大学に設置され、現在では「キャリアセンター」となっています。

鳥取大学では、平成22(2010)年に「キャリアセンター」を設置。大学入学時から卒業・修了まで、学生のキャリア形成に関する支援を行う全学部署として、センター長、専任教員(1名)、就職支援課職員(5名)、キャリア相談員(5名)で構成されています。



② 少人数だからできる個別対応

国立大学は、大規模な私立大学と異なり、少人数の学生数です。1人あたりの教員に対する学生比は、おおよそ国立大学では10人、私立大学では20人です。そのため、国立大学の方が圧倒的に教員数が多く、かつ、就職支援も学生1人1人に対応できることが強みです。

鳥取大学キャリアセンターには、学生のキャリア形成に関する相談対応者として、専属のキャリア相談員を5名配置。社会人経験と学生対応経験が豊富なベテラン相談員が、学生1人につき約1時間、1人ずつ相談の対応をしています。学生は事前予約をとり、何度でも相談することができます。年間の個別相談件数はのべ5,000件。キャリア相談員は、個別の相談のみならず、少人数を対象にした「就職セミナー」を開催し、学生1人1人の状況に応じた就職活動の支援を行っています。



③ 参加必須のガイダンス

就職ガイダンスはどの大学でも行っていますが、「学生の就職を支援している」と言っているだけで、就職ガイダンスに学生が集まっていない大学が数多くあります。都市部のマンモス私立大学の就職ガイダンスの参加率の平均は、およそ3~4割程度です。

地方国立大学の場合、学生にとって就職支援情報は極めて重要なため、多くの学生が就職ガイダンスに参加します。鳥取大学では、就活学生の約8割が参加します。学部生・大学院生をあわせた就活生約750名のうち、約600名が参加し、就活における必要な情報収集を行っています。



④ ニーズに応じたガイダンス

地方国立大学に共通する大きな特徴は、様々な出身者が学生として在籍している点です。鳥取大学には、全国各地の都道府県出身者がおり、約85%が鳥取県以外の出身者です。そのため、就職希望地に応じたガイダンスも実施。「鳥取県」内の就職希望者向けをはじめ、「岡山県・香川県向け」「関西地方向け」等、学生の希望に応じた支援を行っています。また、公務員・教員・医療系職員の志望者ごとのガイダンスを行い、学生ニーズに細やかに対応しています。



生に応じた丁寧な就職支援を実現!

⑤ 独自の学内合同企業説明会

どの大学でも学内合同企業説明会を開催していますが、鳥取大学では、毎年採用実績のある企業を中心に、参加費を負担いただき、参加してもらっています。平成30(2018)年3月開催では、約600社の企業から説明会参加の要望をいただき、厳選した300社に参加いただきました。参加企業を一部ご紹介します。



合同企業説明会参加300社(本社地別)	
東京都 98社	J-オイルミルズ、NTTファンリティーズ、荏原製作所、熊谷組、クラシエ製薬、大和証券、ツムラ、三菱自動車工業、矢崎総業、山崎製パン、リコージャパン 等
大阪府 42社	きんでん、鴻池組、シャープ、タカラスタンダード、ニプロ、日立造船 等
兵庫県 33社	コープこうべ、デンソーテン、フジッコ、ロック・フィールド 等
鳥取県 30社	JCBエクセ、アクシス、寿製菓、鳥取銀行 等
広島県 21社	広成建設、中電工、リョービ 等
愛知県 15社	アイシン・エイ・ダブリュ、名古屋製酪、三菱自動車エンジニアリング 等
岡山県 13社	オハヨー乳業、マルイ、山田養蜂場 等
神奈川県 10社	アジア航測、東芝エレベータ、富士通エフサス 等
その他 33社	コメリ、スズキ、長府製作所、日本食研、日本電産 等



⑥ 就活に伴う移動補助

地方の国立大学生が就職活動において、都会の学生に比べ不利だと感じることは、採用選考が行われる場所の問題です。

学生は、企業の会社説明会や採用選考等で、都会(大阪や神戸)などへ行く必要があります。都会の学生に比べ、就職活動の「移動」の費用と時間の負担感が否めません。そのため、鳥取大学では、「鳥取～大阪」の移動にかかる経費の一部を補助することで、学生の就職活動を支援しています。平成29(2017)年度の実績では、高速バス「鳥取～大阪」の片道3700円を2000円で購入できる補助を実施、約のべ1,300名が利用しました。



⑦ 地域との連携

地方の多くの国公立大学が、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に取り組んでいます。大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出ができるよう、各地で取り組みが行われています。鳥取大学もCOC+事業を行っており、全国初の連携協定を締結しています。それは、平成28(2016)年7月に締結した、鳥取大学と鳥取労働局の連携協定です。「両者が相互に緊密な連携を図り協力することにより、学生へのキャリア支援の充実、地域の雇用対策の推進等を図り、誰もが働きやすい地域社会づくりに寄与する」ことを目的に、学生のキャリア形成の支援にあたっています。



① 「ひとり暮らし」の大学生活

地方国立大学には、ひとり暮らしの学生が多くいます。鳥取大学の場合、学生の約85%が鳥取県以外の出身者のため、約9割の学生がひとり暮らしをしています。日常における、衣・食・住すべてを自分でこなしています。食事・買物・洗濯・掃除・ゴミ捨て・起床等、全てを自分で4年ないしは6年間行うことで、実家で生活しては決して身につけることができない、自己管理能力を修得することができます。

② 「大学街」での生活

地方国立大学でのひとり暮らしの場合、多くが大学の周辺に住んでいます。約9割の学生がひとり暮らしの鳥取大学では、その多くが大学周辺2km圏内に居住（鳥取地区・米子地区ともに）。そのため、学生の通学時間は「10分以内」が7割、「15分以内」が9割です。学生のみならず、大学勤務の教職員も大学の周辺に住んでいることが多く、大学とその周辺は大学を中心とした“大学街”となっています。

学生は、授業のない時間も大学にすることが多く、図書館（8:40～23:00）や自習スペース（8:00～19:00）を活用し、勉強しています。通学に無駄な時間とお金をかけず、学内で勉強や研究、課外活動に時間を使っている学生が多くいます。

③ 地域の中心で学ぶ

地方の国立大学は、その県・地域の中心として機能しており、学術のみならず、文化・生活・暮らしの中心であることも多いです。鳥取大学には2キャンパス（鳥取・米子）ありますが、双方ともに、地域の拠点となっています。

「鳥取キャンパス」周辺には、高校3校、中学校2校、小学校3校あり、大学を中心として文教地区となっています。静穏な地域ですが、日常生活に困ることはなく、半径2kmにスーパー4軒、ドラッグストア3軒、コンビニ11軒があります。病院は小さなクリニックを含め13か所、歯科は11か所あります。また、交通機関の利用は極めて便利で、大学正門から「JR鳥取大学前駅」まではわずか100m、高速バスが停車する「湖山バス停」まで500m、「鳥取空港」までは1kmの距離です。安全安心な生活にちょうど良いサイズのコミュニティで、勉強・研究に集中できる環境です。

医学部のある「米子キャンパス」は、JR米子駅から直線約1kmの場所にあり、遠方に中国地方最高峰の大山を眺め見ることができます。JR米子駅は、山陰線、伯備線、境線の分岐点にあり、交通の要となっています。大学の近隣には、米子市役所、米子市美術館、米子市立図書館等の公共施設や、百貨店の高島屋等の商業施設があり、まさに市中心部に大学が位置しています。



される汎用能力を修得する環境有り!



4 “時間”の管理能力

ひとり暮らしの強みは、「時間」の管理能力を身につけられることです。「朝寝坊しないために目覚まし3個」「空きコマに洗濯をしに一度帰る」「部活開始の時間まで、図書館で勉強」「昼食は弁当持参のため週末に料理して小分け冷凍」等、いかに時間を有効活用できるか、学生は考えて行動しています。この能力は、企業が求める“自ら考えて行動できる人材”の要件に合致しており、高く評価されています。

5 “お金”の管理能力

学生の約9割がひとり暮らしの鳥取大学の学生は、親からの仕送りやアルバイト、奨学金等のお金を、自分でどう使うか考えて、日頃生活しています。収入と支出のバランスを確認しながら、毎月のお金をやりくりする経験を、ほとんどの学生がしています。奨学金を受給している学生は約半数、授業料免除は約1100名(年間のべ)いますが、金銭的に厳しくても頑張っていくハングリーさを兼ね備えています。お金の管理を通じて、先々の将来を見据えたり、万が一に備え貯蓄することの大切さを学んでいます。「お金の大切さがわかる」ことも、社会人になった時に高く評価される点です。

6 “繋がり”の人間関係力

大学生の「部活動・サークル活動への参加」は4~5割程(ベネッセ『第3回大学生の学習・生活実態調査報告書』より)ですが、地方国立大学の鳥取大学の学生では、約9割にのびります。好きなもの(スポーツ・趣味・価値観)を通じて、学生同士がふれあい切磋琢磨し、積極的に交流する活動に参加しています。部活動・サークル活動を通じ、先輩・後輩の“上下関係”や、人との繋がり、人とのつきあい方を学ぶことで、社会に出ても高く評価される人間関係力を修得しています。

7 “素直さ・実直さ”

鳥取県には、超高層のビル群も、華やかで24時間眠らないようなネオン街もありませんが、豊かな自然が身近にあります。山・海・川・砂丘等、自然の環境資源が豊富にあり、すぐにアクセス可能です。夏は海水浴・クリアカヌーに、冬はスキー・スノーボードにすぐ行くことができる地域は、日本中でも数多くありません。

豊かな大自然があるからこそ、その雄大さ、たくましさを学び知り、都会擦れていない素直で実直な学生となっていきます。「素直さ」「実直さ」は、企業が地方国立大学生を採用したい理由のひとつです。



鳥取大学 学部卒業生の進路 (H29年)

地域学部

地域創造コース

(地域政策学科卒) 主な進路: **公務員15名/企業23名他**

- 進学: 鳥取大学大学院、岡山大学大学院、兵庫教育大学大学院
- 公務員: 鳥取県庁、兵庫県庁、鳥根県庁、広島市役所、岡山市役所、真庭市役所、洲本市役所、香美町役場、三朝町役場、鳥取労働局等
- 企業: JR北海道、マックスバリュ西日本、長谷川ホールディングスグループ、寿製菓、日本海ケーブルネットワーク、玉島信用金庫、岡山県商工会連合会等

人間形成コース

(地域教育学科卒) 主な進路: **教員27名/公務員7名/企業7名他**

- 教員: 鳥取県教委、兵庫県教委、岡山県教委、愛媛県教委、大阪府教委、京都府教委、和歌山県教委、福井県教委、香川県教委、愛知県教委、鳥取市、姫路市、舞鶴市等
- 公務員: 鳥取県庁、鳥取県警、鳥取市役所、備前市役所等
- 企業: 神戸新交通、岡山医学検査センター、日本海テレビジョン放送、さんれいフーズ等

国際地域文化コース

(地域文化学科卒) 主な進路: **進学6名/公務員10名/企業28名他**

- 進学: 神戸大学大学院、鳥取大学大学院、マラヤ大学
- 公務員: 静岡県庁、高知県庁、鳥取市役所、神戸市役所、宍粟市役所、気仙沼市役所、香美町役場、琴浦町役場、鳥取県警等
- 企業: JR西日本、シャープ、ミズノテクニクス、日本郵政、山陰合同銀行、鳥取銀行、倉吉信用金庫、両備ホールディングス等

工学部

機械物理系学科

(機械工学科・応用数理工学科卒) **進学47名、企業40名、公務員4名**

- 進学: 鳥取大学大学院、九州大学大学院等
- 企業: NTTファシリティーズ関西、JR西日本テクノス、中電プラント、デンソーパワートレインテクノロジーズ、豊田合成、日東電工、ナカシマプロペラ、パイオニア精工、富士通アドバンスエンジニアリング、三菱電機、リコーエレメックス、リョービ等

電気情報系学科

(知能情報工学科・電気電子工学科卒) **進学67名、企業60名、公務員7名**

- 進学: 鳥取大学大学院、東北大学大学院、筑波大学大学院等
- 企業: NECソリューションイノベータ、OKIソフトウェア、カシオ計算機、中電工、豊田合成、JR西日本、日本システムウェア、パナソニックシステムソリューションズジャパン、富士通エフサス、デンソーテン、本州四国連絡高速道路、三井造船、三菱電機等

化学バイオ系学科

(物質工学科・生物応用工学科卒) **進学57名、企業34名、公務員7名**

- 進学: 鳥取大学大学院、九州大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院等
- 企業: 出雲村田製作所、三洋化学研究所、シャープ、全星薬品工業、ダイセル、ダイソーケミカル、日新薬品工業、日東メディック、日本精化、ピカソ美化学研究所、両備システムズ、シャボン玉石けん、シャープ化学工業等

社会システム土木系学科

(土木工学科・社会開発システム工学科卒) **進学36名、企業60名、公務員39名**

- 進学: 鳥取大学大学院、京都大学大学院等
- 企業: 奥村組、建設技術研究所、五洋建設、高砂熱学工業、JR西日本、日本通運、日立造船、富士通等
- 公務員: 国土交通省、鳥取県庁、愛知県庁、鳥根県庁、広島県庁、長崎県庁、名古屋市役所、京都市役所、神戸市役所、広島市役所、岡山市役所、鳥取市役所、真庭市役所、高梁市役所、高山市役所等

各地の企業・団体に就職し活躍!

3月卒業者) 学部・学科・専攻の状況

医学部

医学科

- 第111回(平成28年度卒)医師国家試験合格率 **96.5%**(114名中110名合格)
- 臨床研修先:鳥取大学医学部附属病院、岡山大学病院、鳥取県中央病院、鳥取市民病院、鳥取生協病院、米子医療センター、山陰労災病院、島根県立中央病院、松江市立病院、津山中央病院、公立八鹿病院、豊岡病院 等

生命科学科

進学26名、就職5名

- 進学先:鳥取大学大学院、信州大学大学院、千葉大学大学院、新潟大学大学院、金沢大学大学院 等
- 企業:ライフサイエンス出版、みなとみらい夢クリニック、エシック 等

保健学科看護学専攻

進学3名、就職71名、自治体(保健師)5名

- 第106回(平成28年度卒)看護師国家試験合格率 **96.3%**(81名中78名合格)
- 第103回(平成28年度卒)保健師国家試験合格率 **94.0%**(84名中79名合格)
- 第100回(平成28年度卒)助産師国家試験合格率 **85.7%**(7名中6名合格)

保健学科検査技術科学専攻

進学8名、就職33名

- 第63回(平成28年度卒)臨床検査技師合格率 **88.1%**(42名中37名合格)
- 就職者のうち、出身県ならびに隣接県への就職者が約8割

農学部

生命環境農学科

(生物資源環境学科卒) 進学58名、企業84名、公務員28名、組合5名

- 進学:鳥取大学大学院、京都大学大学院、北海道大学大学院、九州大学大学院、神戸大学大学院、岡山大学大学院 等
- 企業(食品):キューピー、フジパングループ本社、ホクト、カバヤ食品、東海澱粉、日本ハム冷凍食品、チェリオコーポレーション 等
- 企業(化学・医薬):日化エンジニアリング、池田糖化工業、日医工、藤本化学製品、西川ゴム産業、大宝工業 等
- 企業(測量・環境):日本工営、中央コンサルタンツ、三祐コンサルタンツ、サンスイコンサルタンツ 等
- 企業(農業):三菱農機、全農サイロ、神果神戸青果、ジュンテンドー、サンキンB&G、東部コントラクター 等
- 企業(金融):京都銀行、中国銀行、伊予銀行、みなと銀行、日本生命保険、但馬信用金庫 等
- 公務員:林野庁、農水省神戸植物防疫所、京都府庁、大阪府庁、兵庫県庁、岡山県庁、鳥取県庁、横浜市役所 等
- 組合:全国農業協同組合連合会鳥取県本部、和歌山県農業協同組合連合会、うま農業協同組合 等

共同獣医学科

(獣医学科卒) 進学2名、就職35名

- 第68回(平成28年度卒)獣医師国家試験合格率 **90.0%**(40名中36名合格)
- 動物病院(小動物臨床):13名
- 公務員:14名(鳥取県、広島県、香川県、熊本県、沖縄県、和歌山県、富山県、埼玉県 等)
- 動物園:2名(宇都宮動物園、市原ぞうの国)
- 企業:4名(大塚製薬、日本中央競馬会、アプライドメディカルリサーチ 等)

05.

地方の国立大学の学生は、出身県

鳥取大学の場合、卒業生の5割が「出身

過去7か年の学部卒業者における「出身地」×「企業本社所在地」マトリクス

鳥取大学 H22~28年度 学部卒業者		学 部 卒 業																						
		北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知
学 部 卒 業 生 の 就 職 地	北海道	3	1									1											1	
	青森																							
	岩手			1																				
	宮城				1		1																	
	秋田					1								1										
	山形						2															1		
	福島							2	1															
	茨城				1				1												1			
	栃木									1														1
	群馬										3													
	埼玉							1				3	1	1										
	千葉	1							1		1			2	1									1
	東京	4	1		1			2	2	1	2	1	2	4	1	1	1	8	1	2	3	8	3	21
	神奈川									2	1			2	4						1		1	1
	新潟															4								
	富山																13							1
	石川																	11	2					
	福井																	2	23				1	
	山梨																							
	長野														1							7		
	岐阜																						13	1
	静岡																							29
	愛知										1						1	2				3	10	5
	三重																						1	2
	滋賀																	1	1					4
	京都														1			1	2				2	1
	大阪	1					1						1	1	1	1	1	5	6	1	1	6	1	7
	兵庫							1							2								4	1
	奈良																					1		1
	和歌山																							
	鳥取		1						1	1	1	1		1			1	1	2		1	1	1	1
	鳥根											1												1
岡山															1					1	1		2	
広島	1														1			1			2	1	1	
山口																								
徳島																								
香川																							1	
愛媛																								
高知																								
福岡																							1	
佐賀																								
長崎																								
熊本																								
大分																								
宮崎				1																				
鹿児島																								
沖縄											1													
その他	1																				1	1	1	
就職者計	11	3	3	3	1	4	6	6	5	9	8	5	16	6	8	19	31	39	5	22	48	49	111	
進学者	12	0	2	3	2	1	0	10	2	10	15	6	19	7	9	13	14	21	3	8	30	40	91	
臨床研修医	3	1		1		1	1	5	1	5	5	5	21	12	4		1	2		9	5	8	10	
留学	4																					1	2	
再受験			1			1	1	1	1		1	2	2	2			1	2			2	3	5	
未就職者	1				1			1	2	1	1	2	1				2	3		1	1	3	4	
卒業生合計	28	4	6	7	4	7	8	23	11	25	30	20	59	27	21	34	50	64	8	40	87	103	223	

■ 7年間における卒業生合計7845名中、就職者4315名(55%)、進学者2413名(31%)、臨床研修医594名、再受験(国家試験・公務員採用試験・教員採用試験)者231名(3%)、未就職者279名(4%)、留学生13名。
 ■ 7年間における未就職者等(279名)の内訳は、就活継続138名、進路不明(未定/意思なし/報告拒否含む)67名、アルバイト36名、家事手伝い・専業主婦(夫)20名、芸術・芸能活動12名、病氣療養6名。

・隣接県で就職する者が多い傾向

県」、7割が「出身県＋隣接県」に就職

生の出身地																							合計		
三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	その他	合計
				2			1							1	1										11
																									0
						1	1			1															1
																									5
																									2
																									3
				2																					5
		1		1			1							1											7
				1				1		1															5
							1	3		1	1								1				1	1	23
1		1	1	10			3	2	1	1	1								2					1	31
3	4	25	30	92	8	7	34	27	38	34	5	5	7	13		8	3	12	4	5	8	2	1	3	447
		1	3	4	11	2	4	1	4	4				2	1	2			3						56
				2											1										7
							1			1															16
																1									14
									1							2							1		30
										1	1								1						0
				1															1						12
		1		1						1										1					18
		2	2	2			3	1	1					1	1		1	2							47
8	1	7	7	9			13	5	3	1	1			2	3	1	1	1	2	1			1	2	149
17	1	1		3	2	1		1		1	1									1	1				37
	19			5		1																			28
2	3	57	5	28	3	3	9	4	3	1	1			1	4			3		3		2			143
6	10	31	75	122	13	2	39	22	24	21	7	4	4	14		3	1	6	2			1		3	444
3	2	19	21	393	6	3	35	14	17	9	2	2	1	2		4		2		1			1	1	551
4	1		2	2	12	2	2		1			1				2			1			1			33
		1		1		25			1																28
2	1	8	12	55	2	2	699	97	33	14	7	1		6		3	2	2	1	3			1	1	966
			1	2			26	203	3	2	1	1	1						1		1				244
1	2	4	5	19	2	1	32	11	230	17	1	1	5	6	5	2		3	1	1		1			358
		1	2	13			23	18	21	133	6	1	2	6		3		5	2	1		1	1		246
			1				1	1		1	13					5		1		1				1	25
				2	1		1		1	1			15		1										22
				1	1		2		2	1		2	26	7											43
				1	1		2		2					41										1	48
										1				1	12					1					15
	1	3	3	3			2	4	2	2	2				1	23	3	9	2	5	1	2			69
	1															1	4	1		2					10
																2	29								31
																		1	8				1		10
				1														2		7					10
		1		1					1								1				4				7
																	1				1	17	1		22
																							3		5
		1	2	2			7	1	5	2	1								1					2	28
47	47	167	174	796	53	49	942	419	395	251	50	33	51	110	20	63	18	92	23	30	16	27	10	14	4315
30	29	135	167	544	39	31	324	161	167	126	30	14	19	40	14	59	18	49	26	30	9	13	8	13	2413
2	9	10	43	70	9	7	161	50	30	37	2	16	2	13		12	3	3	1	2	1	7	4		594
				2			2		1		1			1		1								1	13
3	2	8	14	50	1	4	44	13	12	6	2	5	4	7	1	8	3	10		2	3	3	1		231
	6	13	10	46	3	9	65	18	29	13	3	2	3	3	2	8		6	7	3	4	1	1		279
82	93	333	408	1508	105	100	1538	661	634	433	88	70	79	174	37	151	42	160	57	67	34	51	24	28	7,845

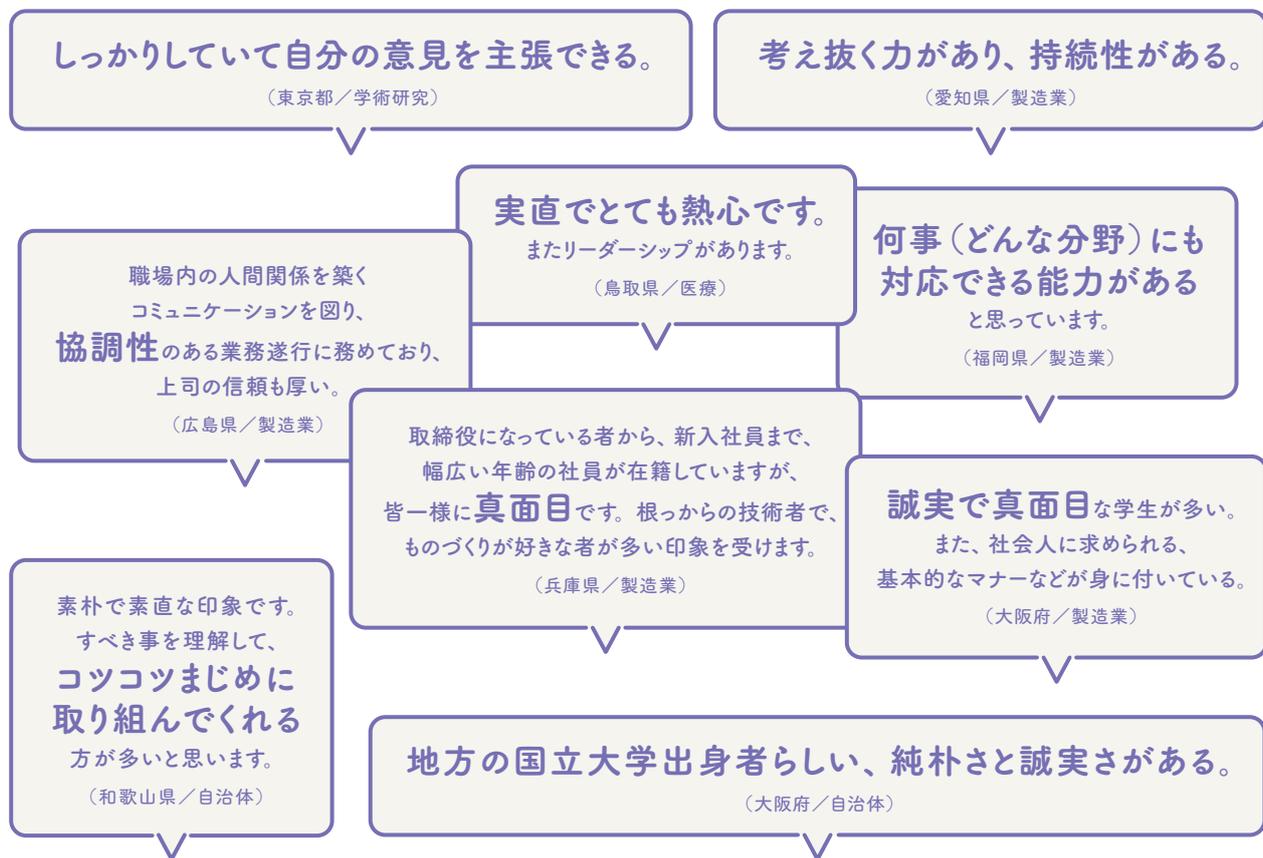
■7年間における就職者4315名中、「就職先(企業本社)」が「出身県」の者は2250名(出身県就職率52%)。「就職先(企業本社)」が「出身県＋隣接県」の者は3053名(出身県・隣接県就職率71%)。

06.

地方の国立大学卒業生に対する社会の評価

平成26年(2014年)9月発行『「鳥取大学の教育力」アンケート調査結果報告書』より

鳥取大学卒業生に対する採用実績企業・自治体等の人事担当者コメント



採用実績のある企業・自治体等の人事担当者による鳥取大学卒業生の印象

n=120

